

安全運転



NEWS

2014年3月号

今月のクイズ

地震等の大きな災害が発生したときに、緊急車両の円滑な通行を確保するため、各都道府県は高速道路等、道路の区間を指定して交通を規制します。では、その区間を走行中の一般の車はどう行動すればよいのでしょうか？

- ①指定の道路以外の場所へ速やかに移動する。
- ②周囲の車の流れに合わせて、避難できる場所まで指定の道路を走行する。（答えは裏面）



TOKIO MARINE
NICHIDO

地震に遭遇したときに ドライバーがとるべき行動とは

車で走行中に、もしも地震に遭遇したら、あなたは安全な行動をとることができますか。

地震に遭遇したとき、その後の行動が人の生死を分けることにもなりかねません。今月は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災当日の車の利用状況や道路の様子を通し、走行中に地震が起きた場合どのように行動すればよいのかをみてみましょう。

地震直後、津波からの避難のために車を利用した理由は？

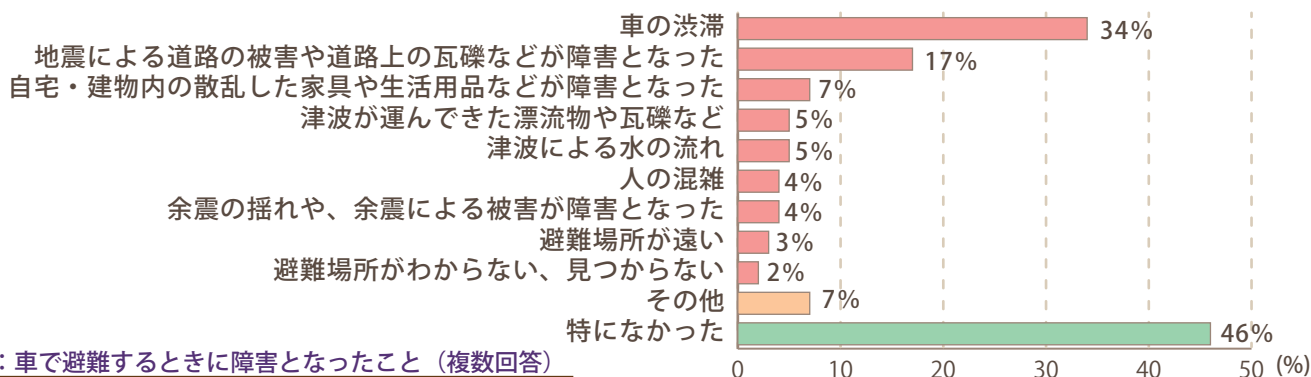
東日本大震災後、内閣府等が岩手県・宮城県・福島県の住民に対し行った面接調査（※）によると、地震直後に車を利用して津波から避難した人は、全体の約57%を占めていました。車を利用した主な理由（複数回答）は、「車で避難しないと間に合わない」（34%）「家族で避難しようと思った」（32%）という回答に続いて「安全な場所まで遠い」（20%）という理由がありました。避難場所までの移動距離の調査では、車を利用した人は約2kmで、徒歩で避難した人の約500mの4倍の距離がありました。東日本大震災においては、車を利用しなければ容易に避難できなかった状況がうかがえます。

一方、「平時の移動には車を使っているから」（23%）「避難をはじめた場所に車で来ていたから」（20%）等、地震発生時に車を使用していたり、日頃から車で移動する習慣があるため、そのまま車で避難したケースもみられました。

地震直後の交通状況は通常では想像できない危険な状態になります

東日本大震災のとき、車で避難する際に障害になったこと（図）について、「車の渋滞」が多くを占めました。続いて「地震による道路の被害や道路上の瓦礫などが障害となった」等、道路上に散乱する障害物が走行の妨げになっていました。「その他」の回答をみると、「道路がひび割れていた」「マンホールが隆起していた」等、道路が損壊し走行できない状況や、「停電により信号機が停止していたことで混乱した」「道路の通行止め」「踏切が上がらず車が渋滞した」等、交通の規制や指示が機能しなくなったために生じた障害もみられました。また、「路上駐車している車が邪魔だった」というケースもあり、地震直後の交通状況は通常では想像できない危険な状態になることがわかります。

では、走行中に地震に遭遇したとき、ドライバーはどのように行動すればよいのでしょうか。



図：車で避難するときに障害となったこと（複数回答）

（※出典：内閣府、気象庁、総務省消防庁「平成23年度東日本大震災における避難行動等に関する面接調査（住民）」より弊社作成）



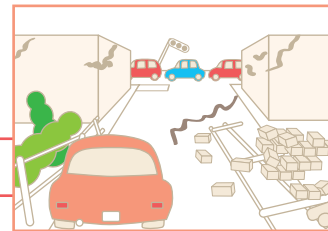
走行中のドライバーが地震発生時にとるべき行動は？



走行中に地震が起きた場合、そのまま車を利用して避難することは困難な上、危険を伴います。さらに、火災などが発生した際に、渋滞の発生や路上駐車があった場合は、消防車や救急車などの緊急車両が通行できなくなり、被害の拡大が予想されます。

ドライバーが「地震発生時にとるべき行動を知っている」ことは、走行中に地震に遭遇したときに、冷静で適切な行動をとることにつながります。

次のような対応を知っておきましょう。



車の走行中に地震に遭ったときは…

1 車を左側に寄せて、停止しましょう。

2 ラジオ等で災害情報や交通情報を聴き、周囲の状況に応じて行動しましょう。

主要な幹線道路で、緊急交通路に指定されている道路を走行中の場合

速やかに道路外の場所か、他の道路に移動しましょう。高速道路を走行中のときは、警察官等の誘導に従い道路外に移動しましょう。

3 車を置いて避難する場合

- ◆ できるだけ道路外の場所に移動しましょう。
- ◆ やむを得ず道路上に車を置いて避難する場合は、

- ① 窓を閉め、エンジンを切りましょう。
- ② 車のキーは車内に残したまま、ドアロックをせずに避難しましょう。

避難する人の通行や、緊急車両の妨げにならないように配慮して車を停めましょう。

3 引き続き走行する場合

信号機などの停止や道路の損壊、様々な障害物等が道路上に散乱することが予測されますので、十分注意して走行しましょう。

車の走行中以外のときは…

津波から避難するために、やむを得ない場合

信号機などの停止や道路の損壊、様々な障害物等が道路上に散乱することが予測されますので、十分注意して走行しましょう。

上記以外の場合

避難のために車を利用することはやめましょう。

(出典：警察庁 平成25年1月「国家公安委員会・警察庁防災業務計画」より弊社作成)

地震直後は、車を利用しなければ容易に避難できない場合がありますが、交通状況は信号機の機能停止や道路の損壊等、通常では想像できない危険な状態になります。

走行中に地震に遭ったときは、ラジオ等で情報収集し、周囲の状況に応じて行動しましょう。

走行中以外で地震に遭ったときは、津波からの避難等でやむを得ない場合を除き、車の利用はやめましょう。

今月のクイズの答え

① 指定の道路以外の場所へ速やかに移動する。(出典：災害対策基本法 第76条の1、2)

ご用命・ご相談は…



東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内 1-2-1

TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590

URL <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

担当営業課